

日本予防理学療法学会 COVID-19 関連エビデンス

海外情報

No.28

調査者	岡本 祥吾
情報ソースの刊行日	2020年5月8日
情報ソースの調査日	2020年5月16日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月18日
日本語タイトル	COVID-19 監禁中に糖尿病のある高齢者の筋肉機能を維持するための在宅トレーニング戦略
情報ソース	J Diabetes
情報のカテゴリー	Covid- 19、糖尿病、在宅トレーニング
発信地域	スペイン
DOI	DOI: 10.1111/1753-0407.13051
URL	<a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32384202/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32384202/</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COVID-19 パンデミック中は、高齢者や2型糖尿病、呼吸器疾患や心血管疾患の罹患者のリスクを制限された状態で維持する必要がある。</li> <li>・ 2 型糖尿病の虚弱高齢者に対しては、筋力維持・血糖コントロール、身体機能改善のために早期に自宅で行えるマルチコンポーネントトレーニングを提供している。</li> <li>・ トレーニングプログラムは、重度の可動性やバランス制限のない高齢者に適しているとされている。</li> <li>・ 運動は、週 2～3 回/週 2～3 回の有酸素トレーニングと組み合わせを行い、適度な疲労感を感じる程度が適性とされている。しかし、知覚された痛みや不快感の高いレベルは避けるようにとされている</li> </ul>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防的介入できる糖尿病であるが、現段階では Covid-19 に関する在宅トレーニングに関する報告は数少ない。</li> <li>・ 合併症などの悪化予防として活動の参考にして頂きたい。</li> </ul>